

事業所名	四天王寺和らぎ苑（放課後等デイサービス）				支援プログラム	作成日	2025 年	2 月	6 日
法人（事業所）理念	宣言 ・私たちは四天王寺開祖聖徳太子が帰依された仏教の精神に基き人の幸せをよろこびとして福祉社会の実現を目指します。 ・私たちは良質で信頼されるサービスを誠実に提供し安心して暮らせる地域づくりに貢献します。 ・私たちは人の尊厳と主体的な生活を守るとともに常に安全なサービス提供に努めます。 職員心得 「和顔愛語」 人と人の関係を最も大切なものとし、いつでもどこでも誰にでも和やかな顔と優しい言葉で接すること。 「地域貢献」 良質なサービス提供に心掛け、地域にとってなくてはならない施設を目指すこと。 「安全への配慮」 常に“安全”に細心の注意をはらうこと。ただし人の尊厳や主体性を妨げてはならない。 「責任と信頼」 問題を回避したり、先送りしない責任感と誠実な仕事が信頼を生む。 「役割の認識」 指示を待つだけでなく、自分の役割を認識して積極的に行動しよう。 ただし報告、連絡を忘れてはならない。 「向上の努力」 知識、技術を向上させるとともに、感性を磨き心豊かな人間に成長しよう。 一人ひとりが、“さすが四天王寺の職員”と言われる存在を目指そう。 そして四天王寺福祉事業団で働くことの誇りとよろこびを自分のものにしよう。								
支援方針	重症心身障害のある方のみならず、脳性まひ、発達障害をはじめ、すべての小児期に発症した障害のある方々を対象として、四天王寺和らぎ苑ではWHOの国際生活機能分類（ICF）に基づいた「6つのF」を大切に、日々の支援やサービスを行っています。 Function [機能] どんな重い障害があろうとも、医療、リハビリテーションやケア、環境支援を通じて機能が発揮される機会を提供し、できることの喜びを支援します。 Family [家族] 育児やケアがより最適なものとなるように、ご家族に寄り添いながら協働するとともに、ご家族が望む生活の実現を将来にわたって支援します。 Fitness [健康] 呼吸、摂食嚥下、消化排泄など健康にかかわる機能の促進・維持を図り、日常生活や社会参加が健やかに継続できるよう支援します。 Friends [友だち] さまざまな人とのつながりのために、仲間と共有、共感できる居場所づくり、コミュニケーションの拡がりを支援します。 Fun [楽しみ] さまざまな活動の経験を保障し、限定された好みでなく、多様なことが楽しめ、楽しみを選ぶ意思決定を支援します。 Future [未来] 利用者の方々とそのご家族、そして四天王寺和らぎ苑職員、すべての未来に向けて、自立と自己実現が達成できるよう、ともに歩んでいきます。								
営業時間		11 時	15 分から	17 時	15 分まで	送迎実施の有無	あり		

		支 援 内 容		
本人支援	健康・生活	呼吸、栄養、消化、排泄、睡眠、体温など、日々体調の把握を行い、健康状態が整えられるよう個別に応じた環境調整とケアを行います。日々のケアを通して、継続的に参加できる安定した生活リズムが整えられるよう支援します。また、食事・排泄・更衣などの日常生活活動動作について、こどもに合わせた介助方法や姿勢保持具の中で機能が発揮されるようとりくみます。		
	運動・感覚	できることの喜び、「動く」ことはその基盤となります。環境を調整・工夫し、多様な姿勢と動く機会を保障します。姿勢と運動の発達支援とともに、様々な「やってみる」経験を保障し、運動と感覚の発達を育みます。また、股関節脱臼や側弯など、発達過程に起因する変形や拘縮の進行予防にもとりくみます。		
	認知・行動	「動く」「みる」「きく」「さわる」など、様々な放課後活動の環境を保障し、放課後活動を通して機能発揮を図るとともに、周辺環境やもの、他者への認知発達を促します。また、場面や状況に見通しをもって行動できるよう、その適応を支援します。		
	言語 コミュニケーション	日々の関わりの中で、こどもの意思や感情を非言語メッセージ（視線や表情、声、しぐさ、姿勢や筋緊張、呼吸、四肢の動き）として注意深く読み取り、大人の抱き方や表情、視線、言葉や声の調子などをメッセージとして伝え、その関わりを通して、こどもの意思や感情の表出を育み、他者との共有を広げていきます。		
	人間関係 社会性	他者との安心のある関わりを通して、信頼関係が築けるよう支援します。また、こども同士のあそびやイベントへの参加を通して、生活経験・生活空間を広げられるよう支援します。		
家族支援		本人支援とともにご家族のレスパイトや自己実現のための時間づくり、介助負担軽減を目的として、学業の長期休業期間や土曜日月1回の開所、入浴支援などの家族支援を行います。また、ご家族から日頃の介助についての関心事をききとり、介助に関するアドバイスを行います。定期的な面談も行い、進路についての話し合いの機会を持ちます。	移行支援	ご家族がニードを明確にして意思決定できるよう、話を聞き、情報を共有、提供し、卒業後の移行支援を行います。
地域支援・地域連携		こどもに関わる他事業所や相談支援などと情報共有し、連携して、長期的な見通しをもって地域で生活しやすいように環境を整えられるよう支援します。	職員の質の向上	こどもに関わるスタッフ間で研修を行い、最適な対応ができるように努めます。
主な行事等		外出イベント・季節行事など		